

センターからの お知らせ

道路防災エキスパートシステムが始動

阪神・淡路大震災が発生してから2年余になります。大規模災害が発生した場合、行政は救急活動や応急復旧に忙殺され、とりわけ担当者が被災したり、交通手段の寸断等にあうとその状況は一層深刻になり、被災情報を把握するための要員すら不足することになります。そのような時に、経験豊富なOBがボランティアとして支援する防災エキスパート制度が全国的に展開されています。

北海道においても道路防災エキスパート体制（北海道開発局の道路部門出身者103名：代表者 柳川捷夫）が平成9年1月10日に発足し、その事務局が当道路管理技術センター内に設置されました。

この制度は既に建設省地方建設局ごとに発足しており、北陸では平成8年12月6日に発生した蒲原沢土石流災害で、延べ253名の防災のエキスパートが支援活動を行いました。

都道府県における状況は、高知県、山口県では既に発足し、設置に向けて検討中は11県、設置準備中は都・道、2県となっています。北海道庁は設立時期は未定であるが「北海道災害復旧エキスパート」（仮称）として準備中でありま

編集後記 From Editorial Room

土木学会誌以来久方ぶりに雑誌編集の面白さを味わうことができ、このような機会を与えていただいた北海道道路管理技術センターに感謝します。雑誌編集は無から有を生み出す作業であり、次第に形を成す途中の過程に言い知れぬ創造の喜びを感じるものです。本誌を読んで自分も編集に参画したいという読者は直ちに名乗りを上げて下さい。ただしボランティアを承知で。(T. O)

大先輩から突然「雑誌を作るから参加しろ」とお声がかかる。第一声は「何故、俺が」であった。雑誌作りが初めての人間が参加し、いろいろな人と出会い、様々な知識を得ました。それこそ、この雑誌のタイトル通り「情報の交差点」に参画した感じで創刊号を作ってきました。その大先輩に感謝しております。(K. U)

創刊号の編集委員の荣誉に預かり、光栄ながらも責任重大！最初のころは、どうなることやらと思いつつ、経験豊富な先輩に励まされ、いつの間にか創刊。先輩方や、事務局におんぶにだっこで、反省しきり。まあ、とにかく、新しい時代を予見する「北の交差点」に乞ご期待！(Y. T)

雑誌制作のノウハウもなく手探りで始めた道路技術情報誌づくり、優れて斬新な発想する道工大笠原先生ほか編集アドバイザーの皆様御協力により、すばらしい創刊号が完成し心から感謝してます。時代の一步先きをゆく情報誌として充実・発展させたい。創造することの軟びに、年がいても感概無量です。(T. M)

「北の交差点」とは…

古来、道が交わるころでは、人々の交流が生まれ、さまざまな文化が育ってきました。「北の交差点」というタイトルは、安全で快適な道路環境の創出を目指して、維持・管理に関係する「人」や「情報」が交流するところをイメージしています。

安全で快適な道路環境の創出を目指す技術情報誌

北の交差点

●1997年4月1日発行

●編集・発行／財団法人 北海道道路管理技術センター
〒060 札幌市北区北7条西2丁目20番地 東京建物札幌ビル6F
TEL 011-736-8577 FAX 011-736-8578

●制作／(株)須田製版C.P.C

●印刷／(株)須田製版

